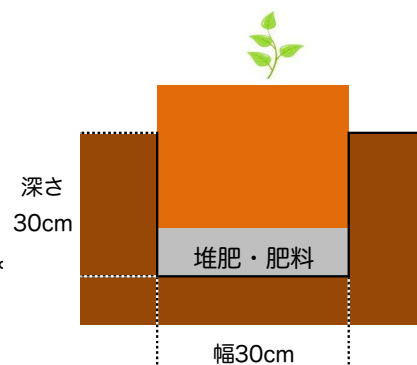


## ① 土づくり

- ◆1株あたり 2 m×2 mの正方形の広いスペースで栽培します。
  - ・石 灰 300 g (栽培スペース全体)
  - ※石灰は1週間前に施し、耕しておく
- ◆栽培スペースの中心に深さ30cm、直径30cmの穴を掘ります。
  - ・牛糞堆肥 3リットル (植穴へ)
  - ・肥 料 30 g (植穴へ)
  - ・ようりん 10 g (植穴へ) ※用意できれば最高です。
- ◆上記を入れたら、土を戻し、高さ20cm、直径30cm程度の山を作ります。
  - スイカやカボチャを育てる時の「鞍つき」という畝の完成です。



## ① 植え付け

- ・新潟では5月～6月中旬に苗を植え付けます。
- ・植え穴をあけたら、水を入れてから植えます。(根付きがよくなります)
- ・苗を植え付けたら、敷きワラを苗の周りに満遍なく敷きます。

## ② 摘心・整枝・人工授粉

- ・つるの数や、実の数を制限することで1つのスイカに養分がいき、おいしいスイカになります。
- ・本葉が5～6枚の時、親づるの先端をハサミで切り取り、脇芽(子づる)を伸ばします。
  - ※スイカは親づるよりも、子づるに実をつけます。
- ・子づるが伸び始めたら、茎が太くて草勢のよいものを3～4本残して他は切り取ります。
- ・雌花(花の下に小さなふくらみがあるもの)が咲いたら、雄花(花の下に何も無いもの)を摘み取り、雌花に軽く押し付けます。
  - ※人工授粉は、気温が上がる前の朝9時前までに行います。気温が高い日や、雨の日などは授粉障がいがおき、奇形になるなど、美味しいスイカができなくなる可能性があります。

## ③ 追肥・摘果

- ・果実がピンポン玉くらいの大きさになったら株の周辺に、化成肥料を30gまきます。
- ・肥料が多すぎるとつるのぼけになってしまうので、3週間おきに30g程度をまいていきます。
- ・1本のつるに複数の実が付きますが、一番最初のもの以外は切り取ります。

## ④ 収穫

- ・日光が当たらない所は色がキレイにでないので、定期的に果実の向きをかえると良いです。
- ・天候にもよりますが、人工授粉から35～40日が収穫の目安です。

## 【留意点】

- ・食べ頃になるとカラスさんが狙ってきますので、ネットをして対策をすることをおすすめします。